



# すくすく



附属小学校  
生活部だより第3号  
令和5年11月16日

## 140周年記念なかよし集会

10月22日は、人権参観日と「140周年記念なかよし集会」がありました。たくさんの方のご参観、ありがとうございました。特に、今回のなかよし集会は140周年記念という節目の集会だったため、特別な集会になりました。ボランティア委員会による人権劇や図書委員会による読み聞かせでは、何気ない学校の日常の中にある場面から「友達を大切にすること」や「それぞれに個性があり、それを認めること」、そして「相手を思いやること」など、これからも大切にしていきたい附属っ子の姿を考え、自分自身や友達のいいところを見つめ直すきっかけになりました。集会委員会による「150周年にも残したい附属っ子のすてき」紹介では、友達や学級のためにすてきな行いをしている人を紹介し、その時の思いをインタビューしました。各学年代表による人権標語発表では、心にグッとくるすてきな標語とその標語に込めた思いを発表しました。最後は全校合唱「マジカルワード」。この曲は今から約10年前に当時の附属っ子がつくった曲です。全校の心がひとつになりました。

附属小140年目も残り半分を切りました。これまでの附属っ子の願いや思いを、現在の附属っ子がしっかり受け取り、そして未来の附属っ子へ引き継いでいきたいですね。

(人権・同和教育主任 船田みどり)



## 実りの多い 教育実習

附属小学校の大きな特徴の一つである教育実習では、例年、子どもたちと実習生のすてきなかわり合いを見ることができます。今年度も、最終日には、お互いに離れがたくて、別れを惜しむ姿をたくさん見かけました。とてもすてきな時間を共有することができたからだと思います。共に学んだり、遊んだりしながら、笑い合っただけで、お互いに多くの実りがあったのではないのでしょうか。

教育実習部長として、実習生を毎日見ている、日に日に成長している様子に驚かされました。それは、附属小学校のすてきな子どもたちのおかげだと思います。実習生は、大好きな子どもたちにとって学びがいのある授業になるように、放課後に反省会をしたり授業の準備をしたりと自分にできることを一生懸命していました。そして、子どもたちは、その実習生の思いにこたえるように、目を輝かせながら生き生きと活動に取り組んでいました。

子どもたちにとっても、実習生にとっても実りの多いすてきな時間になっていたと思います。実習で学んだことをエネルギーに変え、それぞれにさらに磨きをかけて、輝く未来へ新たな一歩を踏み出してほしいと思います。

(教育実習部長 小迫 朝子)



## 相談室より

2学期も後半に入りました。季節の変わり目で体調など崩しやすい時期です。心の悩みは身体にも影響を及ぼすことがありますが、人に悩みを打ち明けるとするのは子どもだけでなく、大人でも難しいことだと思います。特に子どもたちの中には、心の悩みを身体の不調として訴えることもあるかもしれません。

私は週に1回の来校ではありますが、相談室だけでなく、保健室に滞在させてもらうこともあるため、子どもたちの言葉にできない「何か」に気づいてあげられるよう努めていきたいと思っています。ご家庭でお子さんが体調を崩された際には、気持ちの面にも目を向けていただけたらと思います。お子さんのことで何か気になることや、お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

(スクールカウンセラー 高橋 寧々)

11月の相談日

2日、9日、16日、30日

12月の相談日

7日、13日、20日

13:00~17:00

予約専用電話：090-9451-9693



( 切 り 取 り )

子どもたちの様子等で、気付かれたことやぜひ紹介したいことがありましたら、学級担任までご提出ください。